



# 水のひびき

坂戸市の安心と安全を守るために



我々消防団員は地域防災の中核的存在として、「自らのまちは自ら守る」という郷土愛の精神で、坂戸市民10万人の皆様の安心で安全な暮らしを築くために、火災出動のみならず、令和元年東日本台風など近年増加傾向にある風水害などの災害発生時における救助活動・警戒巡視・避難誘導等にも従事しています。また平常時には火災予防の啓発活動に努めるほか、自然災害警戒パトロール・応急手当の普及指導、地域の防災訓練参加などの活動を行っています。未曾有のコロナ禍でありますが、いつ起こるかわからない災害に対応するために、新しい生活様式に伴う活動マニュアルを作成し、感染予防に留意しつつ、複雑かつ多様化する災害に適切に対応できるような知識と技術の習得に努めております。

地域防災で重要な「自助・共助・公助」の「共助・公助」を支える消防団をさらに充実・強化していくためには、団員が活動しやすい環境をつくることと、新しい仲間の入団が必要であります。

坂戸市消防団では、女性を含めた多種多様な職業の団員、近年では、大学生団員も活動しております。

今後とも市民皆様の御支援・御協力を賜りますよう心からお願いいたします。

坂戸市消防団  
団長 大澤 勝

## 地域を守る消防団



防災訓練の様子

消防団は、地域住民の安心と安全を守るため、消防署と連携しながら火災や災害への対応を行うほか、平時は予防啓発活動などを行う組織です。消防署は、常勤の職員が常時消防業務に専念しているのに対して、消防団は、それぞれの職業に従事する者が災害等の発生時に消防団員として活動にあたります。

近年、日本の各地で、これまでに経験したことのない大規模災害が頻発しています。私たちが暮らすこのまちでも、いつ起こるかわからない大規模災害に備えて地域の防災力を高めておく必要があり、地域に最も身近な防災機関である消防団の役割は、ますます重要になっています。

しかしながら、消防団員は減少する傾向にあり、地域防災力の低下が懸念されています。「自らのまちは自ら守る」という思いがあれば、消防団に入団できます。坂戸市消防団では、地域の安心と安全を守る仲間を募集しています。



消防団全車両による一斉放水



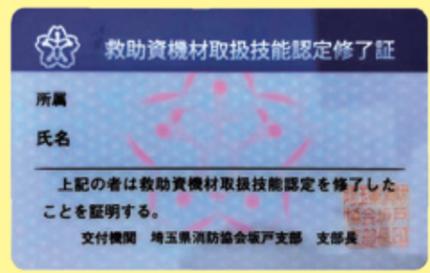
問合せ先 坂戸・鶴ヶ島消防組合庶務課  
電話049-281-3119 内線234

## 技能認定会場の様子



## 救助資機材取扱技能認定が行われました。

救助資機材を安全正確に使うため、年に一度認定試験を行い、合格者には認定証が発行されるようになりました。



## 新免許制度対応消防車両が導入されました。

新免許制度の普通自動車免許（車両総重量3.5トン未満）では、従来の消防車両（車両総重量5トン）は運転できません。そこで、新たに新免許制度対応消防車両を導入し、若年層の団員でも車両を運転できるようになり、地域防災力の向上につながりました。

従来車両（5トン）



新車両（3.5トン）



ポンプ操作部



ホースカー



積載機材



少し小さくなったけど、消防能力は従来どおり！  
狭い道でもへっちゃらだい！

# 消火器使用手順



① 大きな声で周囲の人に知らせ、消火器を火災場所まで運びます。

② 消火器の安全ピンを抜き、ホースをはずし火元に向けます。



③ レバーを強く握り、ノズルをしっかり持ち消火薬剤を放射します。



④ 燃えているものから約3mの距離をとり、火元をねらいましょう。

**注** 天井に届くほどの炎の場合は、すぐに避難しましょう。

## 指定緊急避難場所兼指定避難所



上谷小学校



三芳野小学校

各地区の避難所については、施設の収容可能人数や各地区の意向を基に、区・自治会単位ごとにあらかじめ決めておりますが、必ずしもその場所に限定しているものではありません。

地震や洪水などの災害種別ごとに使用できる避難所が変わってきますので、万一の際に、自分がどこに避難すればいいか、災害ごとに避難経路等を事前に確認しておきましょう。

予備知識があるといざという時に役に立つよ。



# 災害避難場所

## 避難場所と避難所の違い

避難場所は災害が収まる（暴風雨が過ぎ去った場合や、大規模火災が鎮火した場合など）まで、開設されます。

避難所は災害などで自宅で過ごすことが危険な場合に、提供される場所のことです。大地震や洪水などで自宅に帰ることができず、または居住する場所を確保することが困難な場合に、被災した人たちに対して開設されます。

## 土のうの作り方



① 2人1組で1人が袋を持ち、もう1人が土を入れるようにしましょう。

② 大体袋の5～6分目、スコップで5～7杯分まで土を入れます。



③ 袋の端のひもを引っ掛けて口を絞り、周りに数回巻きつけます。巻いてあるひもの内側に残りのひもをねじ込んで通し、ひもが緩まないように固く縛りましょう。



### 土のうの積み方のポイント

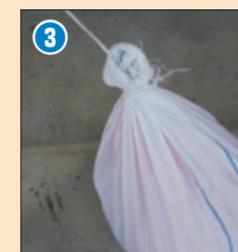
結び口は、水のない側（家屋側）に向け、内側に折り込むようにする2段積みを基本とします。下段と上段が互い違いになるように積み重ね隙間をなくすために土のうを足で踏み固めたり、ブルーシート等で包んだりすると効果的です。

## 水のうの作り方



① 土のう袋の中にごみ袋を重ね、自分で持ち運べる程度まで水を入れましょう。

② 水を入れたごみ袋の空気を抜き、ねじりながら口を結びます。



③ 土のう袋の端のひもを引いて絞ります。

# A E D

坂戸市では、公共施設と市内にある一部コンビニエンスストアにAEDを設置し、貸出しをしています。AEDは、液晶画面にイラストで操作手順が表示されたりと、誰でも簡単に使用することができます。



## 貸出しと使用の手順

1. 現場から119番通報をします。
2. AED設置場所でAEDを受け取ります。
3. AEDの指示に沿って操作及び救命措置を行います。  
AEDの操作方法が不明な場合は、電話119にお問合せください。
4. 救急隊に引き継ぎます。  
**注** 店舗では、貸出しのみ行います。操作説明や現場での対応、配達はできません。



## 三芳野公民館



土のう袋が手元にない場合は、水を入れたビニール袋をダンボール箱の中に入れ、玄関などの出入り口に置くのが効果的です。またトイレやお風呂場、洗濯機の排水口などは、水位の急激な上昇で下水が逆流し水が噴き出ることがあります。水を入れたビニール袋でフタをすれば、逆流を抑えることができます。



水害対策に、土のうを自由に取り出せる土のうステーション（土のう置き場）を設置する自治体も増えています。

各家庭に配布されている防災マップを活用して、自宅の周辺にどんな施設があるか確認しておきましょう。

不明な点があれば、坂戸市役所防災安全課にお問合せください。